

かやばの丘

学校新聞第125号
令和4年7月20日発行



高等部2組美術合同作品
正面玄関に掲示中

学校HPはこちらです。
<https://iwami-yogo.ed.jp/>
QRコードは
こちらです⇒



「地域とともに」

校長 中村 厚子

2022・令和4年度がスタートしました。10名の高等部卒業生を送り出し、2名の高等部入学生を迎え、全校児童生徒21名になりました。少人数だからこそできるオンリーワンの教育をめざしていこうと本校のグランドデザインに掲げました。少人数になったからできないではなく「できる」工夫をし、児童生徒の活動の選択肢はこれまで以上に増やしていくことが児童生徒の「やりたい!!」を育てていくと思います。この「やりたい!!」を応援していく教育活動を行っていきたくて考えています。一方、教育活動の中には児童生徒は必ずしも「やりたい」わけではないものもあります。勉強とはそういうものと思ってくればいいのですが、「興味がない」「やりたくない」ことはやらない児童生徒が増えているのはどこの学校でも同じではないでしょうか。そういったマイナス感情に向き合うのも大事な学習になるととらえ、日々、奮闘中の教職員集団です。その中で、学校には、大事に引き継いでいきたい行事や伝統があり、児童生徒にもそれに主体的にかかわってほしいと願っています。大人数いれば、半数がやらなくてもできることが、少人数の本校ではできないことになってしまいます。できないと、その活動を見て興味をもつ、やってみたいという気持ちが生まれるチャンスを奪うことになるかもしれません。

そこで、精選しつつもこれだけはみんなでやっていこうと、志新たに進めているのが「ウッズスタート」の取組です。今年4月の新聞でも紹介されましたが、これは、邑南町との協働事業です。昨年度まで木工班が作業学習の中で取り組んでいました。今年度からは木工班中心に高等部全体で取組を進めていくことで、これまでの「先輩たちの思い」やこの事業にかかわる「地域の方々の思い」を引き継いでいくことにしました。2015(平成27)年度の「おおなんドリーム 学びのつどい」(※1)で本校生徒が「自分たちが作った積み木を赤ちゃんにプレゼントしたい」と提案したことがきっかけです。その翌春から、邑南町役場を中心に関係機関が連携した活動が始まり、2017(平成29)年度に全国的な「ウッズスタート」という木育事業として邑南町に導入され、現在に至っています。積み木の制作と贈呈を本校高等部生徒が担います。制作にかかる詳細は、本紙裏面から本校ウェブページへのQRコードを載せていますので、ぜひそちらもご覧ください。この事業に取り組むにあたって、いちばん苦労しているところが納品期限があり、決まった納品数があるところです。そして、これまでのクオリティを落とさないためには時間がかかります。工程の中でいちばん時間がかかる最後の仕上げ「積み木みがき」は、高等部全体で全校でやっていくことにしました。そして、地域には学校のために何かしたいという思いのある方がおられることを感じています。地域の方に頼っていこうと思います。本校には、保護者OB会「カナウハズ」という力強い応援団もいます。地域にある思いを巻き込んで、今年度もこの地域で育ち育てられ、ともに歩んでいきます。

※1「おおなんドリーム 学びのつどい」とは、邑南町内の小学生、中学生、高校生、大人が一堂に会し、邑南町の良さや暮らしの課題について学びまとめたことを自分たちの夢や願いを込めてプレゼンし、互いに聞き合い意見交換する場。

自立
自分のため

貢献
人のため

協働
いっしょに

今年度から3年間、グランドデザインをもとに教育を進めていきます。
以下の3つの柱があります。

石見養護学校グランドデザイン みちしるべ

石見養護学校は、石見町立(現 邑南町)の養護学校から始まった地域の中で育てられた学校です。県内の知的障がいのある児童生徒に高等部を設置し、職業教育を始めた学校です。これからも、地域の中で育ち、育てられ、地域とのかかわりの中で、一人一人の思いや教育的ニーズを最大限に生かした「オンリーワンの教育」をめざします。

学校教育目標

夢をはぐみ、未来を生きぬく力を育てる

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意志と態度を育てる
- 2 教育活動全体を通して、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる
- 3 「ひと・もの・こと」との出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる

めざす児童生徒の姿

- ◇ 夢や目標をもち、粘り強く挑戦し続ける児童生徒
- ◇ 思考し、他者に伝え、共に学び合おうとする児童生徒
- ◇ 礼儀正しく、思いやりのある児童生徒

1 「家庭・地域と連携した石見養護学校の学びの図」に基づいた教育を進めます

2 「地域連携」を進めます

3 「地域の特別支援教育のセンター的役割」を担う学校として役割を果たします。

今年度から、学校運営協議会による学校運営が始まりました。第1回目を6月20日に行いました。10名の委員の方にグランドデザインの審議や意見交換をしていただきました。

グランドデザインについては承認をいただき、学校運営や地域連携について、元気になる助言をいただきました。

グランドデザイン・学校運営方針は
こちらからご覧ください



学校運営協議会の報告は
こちらからご覧ください



小・中学部『お米を育てよう』

小中学部（岸）

5月25日に地域の方をお招きして、「お米を育てよう」の学習をしました。昨年はバケツで作ったので少なかったため、今年は「トロ舟」に一人ずつ8株植えました。地域の方の説明を真剣に聞いて、たっぷりの土を混ぜたり、たくさんお米の苗を植えたりできたのでみんな楽しそうでした。稲刈りや脱穀も一緒に行います。収穫が楽しみです。



高等部『伝える・伝え合う』

高等部（藤井）

今年度の高等部は新入生2名を迎え、15名でのスタートしました。

今年度の目標は「自分の考えや思いを文字や言葉等にかけて相手に伝えていく力をつける。」です。

校内だけでなく、現場実習等でいろいろな人と接する機会が多い中、自分なりの表現方法で、気持ちや思いを伝えることができるようになってほしいと設定しました。

成功体験や失敗体験を通して、伝える力をつけてほしいと思います。



「ウッドスタート」

寄宿舍『歯磨きで健康に！』

寄宿舍（浅津）

6月を『歯と口の健康月間』とし、学習会や、歯磨きテスターを使った歯磨きを行いました。

学習会では、口腔内の細菌数や、歯磨きの大切さを学びました。歯磨きテスターは3種類の味の中から自分で選び、鏡で磨き残しを確認しました。きれいに磨くことができた時の嬉しそうな笑顔が、印象的でした。

今後も、食事を楽しく味わったり、丈夫な体をつくらったりするために、自分の歯を大切にしてほしいと思います。



全校行事の様子

入学式

4月11日、高等部2名の新入生を迎えました。入学式の様子は、HPに掲載しております。

右のQRコードを読み取り、HPをご覧ください。



体育祭

5月14日、今年度も感染症対策等を行いながら午前中開催としました。

こちらの様子もHPに掲載しております。

ぜひご覧ください。



ホームページ「キラリいわよう」をご覧ください！

新しく地域連携活動紹介ページを作成しました。

ホームページにある「キラリいわよう」のロゴをクリックしてください。

活動の様子を紹介しております。操作手順も紹介致します。ぜひご覧ください！



「キラリいわよう」マーク

パソコン画面



スマホ画面



「草刈りたい（地域除草作業）」を行いました

高等部「新しい積み木ができました！」



QRコードを読み取っていただいても記事をご覧くださいいただけます。



2学期の主な行事

- 9/1 (木) 始業式 13:15下校
- 9/15 (木) 特総体交流会
- 9/16 (金) 特総体(卓球)
- 9/22 (木) 高等部参観日
- 9/27 (火) 小学部参観日
- 10/3 (月) ~14(金) 高1・2年現場実習
- 10/3 (月) ~21(金) 高3年現場実習
- 10/28(金) 全校参観日・井戸端会議
- 11/19(土) 石見もりもり祭
- 11/21(月) 振替休業日
- 12/23(金) 終業式 小) 13:15下校 中高) 14:35下校

作業班販売会 「IWAMIマルシェ」



昨年度に引き続き邑智郡内での販売会を開催いたします。

昨年度は、どの地域もたくさんの方にお越しいただきました。ありがとうございました。

今年度の日程は以下のとおりです。

- 9/14(水) 10:30~12:30 道の駅インフォメーションかわもと
- 9/29(木) 10:30~12:30 道の駅みずほ
- 12/13(火) 10:00~12:00 いわみプラザ又はアベル(矢上高と合同販売)
- 1/19(木) 10:40~12:30 みさと館
- 2/9(木) 10:40~12:30 口羽公民館
- 3/14(火) 10:00~12:00 いわみプラザ又はアベル(矢上高と合同販売)

～表彰～



第23回島根県障がい者スポーツ大会

【陸上競技大会】

1500m 2位・4位入賞

800m 3位入賞

100m 2位入賞

50m 3位入賞

100m/200m 6位入賞

ジャバリックロー 1位入賞(大会新)

ソフトボール投げ 7位入賞

【卓球大会】

個人戦 …準優勝

…準優勝

女子団体戦 石見養護&浜田養護

合同チーム

…準優勝